

2005年7月25日

各位

新規エイズ治療薬（CCR5受容体拮抗剤：ONO-4128 / 873140）の開発状況

小野薬品が創製し、現在、導出先のグラクソ・スミスクライン社（GSK社）が世界的に開発を進めている新規エイズ治療薬（ONO-4128 / 873140）について、GSK社は今般、第 Ⅲ相臨床試験を開始しましたので、お知らせいたします。

GSK社は昨年末より、エイズ治療薬による治療経験がない新規のHIV感染患者を対象とした後期第 Ⅲ相臨床試験を開始し、現在、当該試験を実施中ですが、今回、エイズ治療薬による治療経験があり、これまで治療に難渋し、新規治療薬の臨床ニーズが高いHIV感染患者を対象とした第 Ⅲ相臨床試験を開始しました。

ONO-4128 / 873140は、HIVがヒト免疫細胞に感染する際に利用するCCR5受容体に対して持続的に結合し、HIVの細胞への侵入を阻止する従来の治療薬とは全く異なる作用機序の薬剤です。

米国のHIV治療の専門家であるUniversity of North Carolina at Chapel Hillの医学部教授兼エイズ臨床研究グループ長であるDr. Joseph Eronも「経口投与可能な侵入阻害剤が登場することは、HIV感染患者に対し貴重な治療の選択肢を提供するであろう」とコメントしています。

以上

小野薬品工業株式会社
広報室
TEL：06-6263-5670
FAX：06-6263-2950